

## カテゴリーデータの集計方法

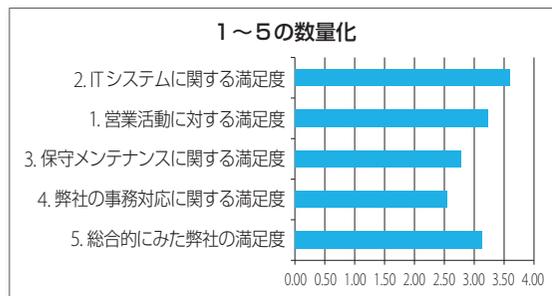
カテゴリーデータの置き換える数値を1～5とするのではなく、-2～2とする場合があります。こうすることで、肯定的な意見はプラス、否定的な意見はマイナスの数値とすることができ、肯定、否定を分類して表示することで、結果をわかりやすくする表現できます。

	選択肢の付番		数量化
大変満足	1	➡	2
満足	2	➡	1
どちらともいえない	3	➡	0
不満	4	➡	-1
大変不満	5	➡	-2

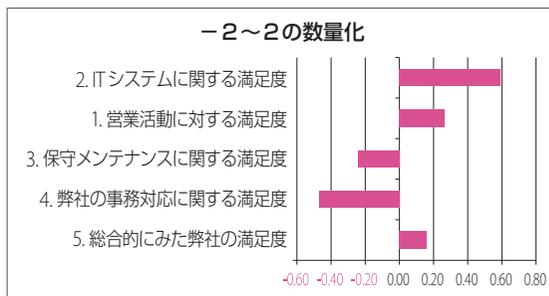
たとえば、企業の満足度調査でアンケートデータを「1～5」に数量化した場合には、肯定的な結果である満足している項目について、3.0を境に、それ以上であれば満足、3.0未満であれば不満と判断されます。

	1～5の数量化	-2～2の数量化
1. 営業活動に対する満足度	3.27	0.27
2. ITシステムに関する満足度	3.60	0.60
3. メンテナンスに関する満足度	2.77	-0.23
4. 事務対応に関する満足度	2.53	-0.47
5. 総合的にみた満足度	3.17	0.17

「-2～2」に数量化した場合には、満足、不満の境は0になります。満足の平均が正の値「プラス」になれば満足していることとなります。負の値「マイナス」になると不満になります。Excelではマイナスの数値は赤字になるので、不満な数値は赤字で表示され、不満であることがわかりやすくなります。



「1～5」の数量化でグラフを作成すると、どこまでが満足している項目なのかわかりづらい



「-2～2」の数量化でグラフを作成すれば、右へ行くと満足、左へ行くと不満と視覚的に理解できる

### まとめ

- ☑ カテゴリーデータのグラフはSAの場合は円グラフがわかりやすく、クロス集計の場合は構成比グラフがわかりやすい。
- ☑ カテゴリーデータのMAを集計する場合、分母は回答総数ではなく回答者数とする。
- ☑ MAの場合は棒グラフが適切。
- ☑ カテゴリーデータのNAを含めるか含めないかによって結果は大きく変わる。含める含めないを統一して集計することが必要。
- ☑ 集計する場合には集計の向き、列方向か行方向かに留意して集計する。
- ☑ カテゴリーデータを数量化すれば、代表値の算出など、数量データと同様の集計が可能となる。